

## 主要損害保険会社の令和5年3月期決算の概要

### 1. 損益の状況（連結）

- 正味収入保険料は、国内における火災保険の料率改定前の契約増加や、海外保険事業の好調に円安が重なったこと等により、前年に比べ増収。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、国内外の自然災害や新型コロナウイルス感染症に関する保険金の増加等から、前年に比べ減益。

（単位：億円）

	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期	前年比
正味収入保険料	100,310	107,125	120,751	13,625
経常利益	7,883	12,734	8,575	▲ 4,158
特別損益	▲ 1,485	▲ 314	306	621
親会社株主に帰属する当期純利益	4,486	9,081	6,291	▲ 2,789

### 2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、海外金利の上昇による、その他有価証券評価差額金の減少等から、前年度末に比べ21.3%ポイント低下。

（単位：%）

	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	770.0	764.0	742.7	▲ 21.3Pt

（注）「連結」は、東京海上HD、MS&AD HD、SOMPO HDの3グループを集計。

「単体」は、東京海上日動、三井住友海上、あいおいニッセイ同和及び損保ジャパンの4社を集計。